

授業科目	日本国憲法 (AB クラス)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH10403J		
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	森 敦嗣							
授業概要	<p>施行されてから 70 年以上がたとうとしている日本国憲法は現在、その内容を改正するかどうかの岐路にある。もし改正するとなると最終的に決定するのは国民投票であり、それに参加する主権者である私たち国民だ。いわば国民には日本国憲法の将来がかかっているとみえる。そのため重要な選択権をもつ私たち国民には、憲法がもつ意義と国民にとっての役割を考える必要性がいま求められている。</p> <p>この授業では、立憲主義の意義、日本国憲法における人権とその内容、そして憲法を支える統治機構についての解説を中心に授業を進める。授業中盤では、裁判所が現在実施している裁判員制度に注目し、ある刑事事件の動画をみてもらい裁判員となったつもりでその事件の判決を書いてもらう。また政府与党が公開している憲法改正草案の内容を紹介し、現行の憲法の何を換えようとしているのか考えていく。</p> <p>毎回の授業ではパワーポイントを使用し、小テストとレポートも適宜実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.憲法の基本的な知識と用語を理解し説明できる。</p> <p>2.日本国憲法がもつ立憲主義の意義と国民にとっての役割を理解し説明できる。</p> <p>3.憲法に関連する政治的・社会的問題について、自らの考えを論理的に述べることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	15	15	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	50	10				0	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	20	5	15			0	40	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本国憲法がもつ基本的な知識と用語をよく理解し、立憲主義の意義、憲法の役割、関連する政治的・社会的問題について自らの考えを論理的に説明できる。				日本国憲法に関連する基本的な知識と用語、国民にとっての憲法の役割を理解し、それを人に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	イントロダクション 授業の概要と評価方法、憲法とは何か	オリエンテーション 講義	復習：配布資料の見直し	60
2	憲法総論(1) ・憲法の理念、人権と統治機構の概要	講義	復習：配布資料の見直し	60
3	憲法総論(2) ・立憲主義と民主主義について	講義	復習：配布資料の見直し	60
4	憲法総論(3) ・平和主義の原理、自衛隊の存在と9条との関係について	講義、レポート提出	復習：配布資料の見直し	60
5	統治機構(1) ・国会と内閣、首相公選制の賛否を考える	講義、レポート提出	復習：配布資料の見直し	60
6	統治機構(2) ・裁判員制度関連動画の鑑賞①、裁判員として判決を考える	映像を使ったグループ討論	復習：配布資料の見直し	60
7	統治機構(3) ・裁判員制度関連動画の鑑賞②、裁判員として判決を考える	映像を使ったグループ討論	復習：配布資料の見直し	60
8	基本的人権(1) ・基本的人権の原理について	講義	復習：配布資料の見直し	60
9	基本的人権(2) ・各々の人権の概要と公共の福祉について	講義	復習：配布資料の見直し	60
10	基本的人権(3) ・包括的基本権と法の下での平等、何をもって平等といえるのか	講義	復習：配布資料の見直し	60
11	人権各論(1) ・精神的自由権、経済的自由権、人身の自由	講義	復習：配布資料の見直し	60
12	人権各論(2) ・社会権における国家と国民の関係、選挙権の特徴	講義	復習：配布資料の見直し	60
13	憲法改正(1) ・なぜ今憲法を変えようしているのか、憲法改正の手続き、改正草案の解説	講義	復習：配布資料の見直し	60
14	憲法改正(2) ・改正草案の解説と改正理由、護憲派の指摘する問題点について	講義	復習：配布資料の見直し	60
15	全体のまとめ 本講義全体の総括、試験対策について	講義	復習：これまで配布資料を見直し、試験に備えること	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予備的な知識は特に必要としないが、テレビやインターネットで政治・社会関連のニュースを見ておくことが望ましい。			
テキスト	テキストは特に使用せず、授業中にレジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	駒村圭吾／編『プレステップ憲法 第2版』(弘文堂、2018年) 伊藤真『伊藤真の憲法入門第6版——講義再現版——』(日本評論社、2017年) 村和男／監修『新装版 日本国憲法』(ブティック社、2013年)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	参考文献はすべて購入する必要はないが一冊(特にプレステップ憲法)だけでも手元に置いておくことと理解しやすい。配布プリントの整理を心掛け、復習を中心に行ってほしい。またTVのニュースや新聞に日頃から目を通し今何が問題となっているのか把握しておくこと。 授業妨害となるような私語や携帯、SNSの使用は厳禁とし場合によっては退室させる。 憲法は国の基本法といわれているが、その内容と憲法が私たちの生活にどのように関係しているのか知る人は多くはない。国のルールというと堅苦しい印象があるが、実は私たちの権利や生活を保障			
達成度評価に関するコメント	試験及び小テスト、レポートの内容については、授業の中で支持する。			